

平成28年度 第2回協働のまちづくり推進委員会 会議録

日時	平成28年6月21日（火）13:00～
場所	とみさと市民活動サポートセンター 市民活動ブース
出席委員	長徳副会長，小川（道）副会長，大森委員，桑岡委員，小出委員，佐々木委員，高木委員，山本委員，石川委員，西澤委員，小川（亜）委員，尾崎委員，小沼委員
欠席委員	久野会長
事務局	市民活動推進課 粕谷課長，岡村主査，菅谷，渡辺 とみさと市民活動サポートセンター 平野
アドバイザー	牧野 昌子氏（ちばのWA地域づくり基金 理事）
傍聴者	3名

[会議次第]

- 1 開会
- 2 会長あいさつ（欠席により長徳副会長があいさつ）
- 3 市民活動支援補助金審査会
 - （1）応募団体プレゼンテーション
 - （2）審査
- 4 答申について
- 5 議題
 - （1）コミュニティ財団（民間基金）について
 - ・公益財団法人「ちばのWA地域づくり基金」の仕組みについて
 - （2）協働のまちづくり推進計画の取組みについての総括意見について
 - （3）実施事業について
 - ・とみさと協働塾
 - ・まちづくりのサポーター制度
 - ・AZビル見学・意見交換会
 - ・協働のまちづくり講座（小学生ボランティア体験）
 - ・メカラウロコセミナー
- 6 閉会

[会議概要]

	<p>会長が欠席のため、協働のまちづくり推進委員会の運営に関する要綱第3条第3項の規定により、副会長が議事の進行を務める。</p> <p>次第3 市民活動支援補助金審査会</p> <p>＜応募団体＞6団体 キックオフ部門：1団体 末廣倶楽部 チャレンジ部門：5団体 富里市商工会青年部 富里スクエアダンスクラブ 子育てサポートの会 子供らと歩む親の会 オラキノ・マイカイみちこフラスタジオ</p> <ul style="list-style-type: none">・プレゼンテーション・質疑応答・審査・採点票の集計
副会長	<p>次第4 答申について 集計結果がまとまりましたので、事務局より発表をお願いします。</p>
事務局	<p>平均点発表</p>
副会長	<p>選考要領第4の規定により、各委員の採点を集計した平均点を審査結果として書面により市長に答申します。よろしいでしょうか。</p> <p>～異議なしの声あり～</p>
副会長	<p>以上で市民活動支援補助金審査会を終了とし、引き続き、議題に入らせていただきます。</p> <p>次第5 議題 (1) コミュニティ財団（民間基金）について</p>

<p>副会長</p>	<p>・公益財団法人「ちばのWA地域づくり基金」の仕組みについて</p> <p>それでは、議題（１）コミュニティ財団（民間基金）である公益財団法人「ちばのWA地域づくり基金」の仕組みについてですが、前回の会議で、今後、市民活動支援基金の検討を進めるために、民間基金である「ちばのWA地域づくり基金」について、どのような仕組みなのか説明を求めたいと提案したところ、今回、理事である牧野様から説明いただけることになりました。</p> <p>今後の市民活動支援基金の検討、そして助成する側の視点は、市民活動支援補助金の見直しを検討する際の参考となると思います。</p> <p>それでは、牧野様、よろしくお願いします。</p>
<p>アドバイザー</p>	<p>「ちばのWA地域づくり基金」の仕組みについて説明。 （ちばのWA地域づくり基金に関するパンフレット参照。）</p>
<p>副会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆さんから、御質問などがあればお願いします。</p>
<p>A 委員</p>	<p>助成を受けた団体などから、どのように事業を実施したかなどについて、寄附者へ報告はあるのでしょうか。</p>
<p>アドバイザー</p>	<p>寄附者への報告は行っています。この基金では、まず寄附を集めるのに値する事業なのかという選考を厳しく行っています。現在は、寄附を集めるのにインターネットを活用するなど色々な形が取られていますが、私達は寄附を集めるのに値する事業を作るところから関わって、完了まで伴走をしています。どのように訴えればいいのか、自分達がこれをやりたいということだけではだめなので、社会や地域から何を求められているのか、そのやりたいことと求められていることをきっちりあわせることの支援、そして、助成してもらった寄附の使い方までの支援を行っています。普通の助成財団は、助成したらその後の支援は行われなところが多いのですが、この基金では、その後の報告会やパーティーを開いて、その場で寄附を集めるなどもしています。こういった団体に対しての一連の支援が一番大事なことだと思います。</p>

B 委員	<p>寄附募集事業については、希望額が集まったら事業を行うのか、集まらなくても行っていくのかについて伺いたいのが一点と、もう一点が事業をスタートした後に、例えば、インターネットなどで進捗状況を公開するなど、寄附者や寄附を考えている人へのアプローチを、どのように行っていけば良いのかについて、伺えればと思います。</p>
アドバイザー	<p>こちらの基金では、事業を行いながら寄附を集めています。どうすれば沢山の寄附が集められるのか、時には現場に行くなど伴走しながら取り組んでいます。色々なイベントがある時に、募金箱の設置やチラシ配布を行う、あとはインターネットを活用してお金を集めています。ある事業でクラウドファンディングによる寄附募集をしたのですが、地域性から集まらなかったことがあります。その時は直接お話しをすることで寄附を集めました。対象となる人達と事業について、それぞれ考え方があってと思いますが、共感をいかに集めるかが大切で、それには進捗情報を伝えるといった情報公開が必要です。</p>
副会長	<p>助成を希望する事業についての情報は、どのように集めているのでしょうか。</p>
アドバイザー	<p>現在は公募により情報を集めています。</p>
副会長	<p>その他に御質問はありますか。</p>
A 委員	<p>ふるさと応援寄附金について、何に使われるのかわからないといった現状から、何に使われるのかに関心を持つのではなく、見返りを期待して行われていることが多いと思います。この課題については、今後、市民活動支援基金を検討していく時に、富里市ではどのように考えていくのが重要となってきます。例えば、富里市では市民活動フェスタが大変盛り上がってきていますので、そこで市民活動を応援してもらえそうなチラシを配布して、基金への寄附に協力してもらうことも良いのではと思います。今後は、寄付金が何に使われるのかを伝えるために、寄附を充てる事業を明確に提示し、事業選定をきちんと行うなど、市民の理解に向けてどのような工夫をし、制度として構築していくのかについてのハードルは、か</p>

<p>アドバイザー</p>	<p>なり高いのではないのでしょうか。</p> <p>私達の基金は民間なので、比較的自由に制度を運用することが出来ています。富里市で行う市民活動への寄附制度ということなので、市民活動の中身についての説明も含め、制度の内容については推進委員会の話し合いの中で検討していただくしかないと思います。どういうものを「まちづくり」や「地域づくり」というのか、そして、どのように運用していくのかを決めていくことが、大事な部分になると思います。また、これまでの富里市のニーズについては、皆さんの意見の出どころではないかと思ひますし、あわせて資金を調達すること、そして、資金を管理することについても、きちんと話し合いをして積み重ねていくことが必要なのではないのでしょうか。</p>
<p>副会長</p>	<p>その他に御質問はありますか。</p>
<p>C 委員</p>	<p>寄附制度については、寄附してもらいたい目的を明確にして集めるなど、市民の目から見てわかりやすい形が良いと思います。市民のニーズを明確に捉えたものにできれば、共感してもらえるのではないかと思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>やはり富里市のニーズについては、正確に知りたいところだと思います。協働のまちづくり条例や推進計画に基づき、これまでにいくつかの小学校区で地域フォーラムを開催しています。各小学校区において、どのような課題があるのかを確認し、どのように解決していくのかを話し合っていますが、課題解決については残されていることがあると思います。課題解決には資金が必要になることもあるので、寄附制度の検討を進めて、後期実行計画の中で作り上げていかなければと思います。</p>
<p>A 委員</p>	<p>これまでは社会全体として、市民の要求というのは行政が税金で解決してきました。ただ、これからを考えると、少子高齢化などの問題から税収があまり期待できないと思われるので、行政に頼るのではなく、何とかできるものは自分たちでやろうという意識が変わっていかねばいけないと思います。</p> <p>私に関わった団体の活動でも、道路の環境整備を行う時に、道路</p>

<p>アドバイザー</p>	<p>は市が持っているのだから、市にやってもらえばいいのではとの意見もありましたが、そこを乗り越えて自分たちでできることはやろうと取り組んだところ、地域の小学校や自治会などの協力を得ることができ、事業を進めることができました。これを行政に頼んだ場合は様々な検討が必要となり、かなりの年月がかかってしまうと思います。市民が考え方を変えることや、課題解決への道筋をきちんと設定した上で、課題解決に向けて取り組めると良いと思います。</p> <p>協働というものをどのように捉えるのかが重要だと思います。以前はお互い様でやっていたことを、高度経済成長などで税収が増えたことで、行政に委託し税金を使って行う形になってきました。今後は、以前に行っていたやれることは持ち寄る文化を取り戻すことが必要となります。それぞれの主体でできることは、それほど多くありません。他の自治体では、課題解決のための事業に対するプロジェクト支援として個々の団体を支援する形ではなく、事業に関わりのある様々な団体への支援という形が取られていて、今後は、そういった支援の形にシフトしていくのではないかと思います。長く市民活動支援基金を実施している自治体では、なかなか新しい案件が出てこなくなっています。富里市のように、これから制度を作る場合には、地域内の多様な主体が得意なことを持ち寄り、連携して地域課題の解決に導くコレクティブインパクトとありますが、課題解決のための事業に対するプロジェクト支援として、個々の団体の支援ではなく、関わりのある様々な団体と連携することへの支援を行えるような制度が作れると、県内市町村の新しいモデルになれるのではと期待しています。</p>
<p>副会長</p>	<p>その他に御質問はありますか。</p> <p>特になければ、以上で「ちばのWA地域づくり基金」の仕組みについては終了とします。</p> <p>牧野様、ありがとうございました。</p> <p>(2) 協働のまちづくり推進計画の取組みについての総括意見について</p>
<p>副会長</p>	<p>それでは、続いて、議題(2) 協働のまちづくり推進計画の取組みについての総括意見について、事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	<p>協働のまちづくり推進計画の取組みについての総括意見について説明。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。 それでは、お手元の資料2について、推進項目ごとに見ていきたいと思います。 まず、「1 環境づくり」について、何か御意見ございますか。</p>
A 委員	<p>(2)の下から4行目にある「担当部署と関係部署との連携の状況などを公表していただきたいと思います。」の部分について、例えば、「推進委員会に概要を報告していただきたい」といった内容を加えた方が、実効性があるのではと思います。</p>
副会長	<p>これまでの会議でも、皆さんから庁内の動きがどうなったのかが伝わってこないとの意見をいただいています。こちらについては、「5 市の体制」の(2)の2行目に「当委員会に情報提供され、検証されることが大切であると考えます。」と記載しています。</p>
事務局	<p>「1 環境づくり」の(2)については、「5 市の体制」にある記載内容と、A委員の御意見を踏まえて、推進委員会に報告する、といった内容を記載します。</p>
副会長	<p>他に御意見ございますか。 なければ、次の「2 担い手づくり」に進みます。 何か御意見ございますか。</p>
A 委員	<p>(6)のボランティア貯金について、2行目に「活動実績が目に見える評価となるため、」とありますが、「市民活動団体などから意見を聴取して評価する」というような現場の意見も踏まえた上で考えてはどうかと思いました。</p>
副会長	<p>ボランティア活動というのが奉仕作業だけということではなく、活動者にもメリットがあることがわかれば、もっとやりがいを感じて頑張ってくれる、そして、それを見た他の人が活動を始めてくれるのではと思います。</p>

事務局	<p>(6)については、市民の声を聴いて検討していく、といった内容を記載します。</p>
副会長	<p>他に御意見ございますか。 なければ、次の「3 情報の提供・共有」に進みます。 何か御意見ございますか。</p> <p style="text-align: center;">～特に意見なし～</p>
副会長	<p>なければ、次の「4 情報の提供・共有」に進みます。 何か御意見ございますか。</p> <p style="text-align: center;">～特に意見なし～</p>
副会長	<p>なければ、次の「5 情報の提供・共有」に進みます。 何か御意見ございますか。</p> <p style="text-align: center;">～特に意見なし～</p>
副会長	<p>なければ、最後に「6 富里市協働のまちづくり推進委員会について」に進みます。 何か御意見ございますか。</p>
A 委員	<p>文言としなくても良いのですが、富里市では平成28年3月にサポートセンター開所したので、この委員会でも今までよりサポートセンターに重きを置いた話し合いができればと思います。</p>
事務局	<p>サポートセンター開所後の評価や検証などは、この委員会の役割となっています。改めてお伝えする意味も含めまして、その旨の内容を記載します。</p>
副会長	<p>現在はサポートセンターの皆さんが、現場で様々な支援を行っていますが、我々推進委員でも相談などの支援ができるように考えると、サポートセンターとの連携が緊密でないといけません。そういった部分を記載していただければと思います。</p>

	<p>他に御意見ございますか。</p> <p>～特に意見なし～</p>
副会長	<p>色々な御意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>総括意見について、本日の意見を踏まえて修正を行いますが、修正作業については、会長・副会長・事務局で行うこととしてよろしいでしょうか。</p>
	<p>～良いとの声あり～</p>
副会長	<p>それでは、再度総括意見を調整し、皆さんに最終的な形でお届けしますので御了承ください。</p> <p>(3) 実施事業について</p>
副会長	<p>それでは、続いて議題(3)実施事業について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>実施事業について事務局より説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とみさと協働塾 ・まちづくりのサポーター制度 ・市民活動サポートセンターの利用状況 ・AZビル見学・意見交換会 ・協働のまちづくり講座(小学生ボランティア体験) ・メカラウロコセミナー
副会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>実施事業について説明がありましたが、御質問などございますか。</p>
D委員	<p>とみさと協働塾について、あまり参加者が集まらないのではと感じています。宣伝に関して、各自治会の代表者へ積極的に働きかけて、例えば、広報に関する内容であれば広報担当者に声掛けしてもらった方が良いと思います。毎年度、同じようなメンバーしか来ないようでは新たな担い手が出てきませんので、何か工夫が必要だと思います。</p>

	います。
副会長	色々な御意見があるところだと思えますが、私は、何度も参加してくれる人も財産だと思えます。こういった人を人材バンクに登録して、地域で活躍してもらえればと思えます。
D 委員	今年度の実施内容は、昨年と同じものなのでしょうか。
事務局	昨年度の反省から組み立てを変更しておりますが、内容としては重複する部分がありますので、参加者の募集については、昨年度と重複しない形を考えています。また、D 委員から御指摘のあった周知方法については、十分に検討させていただきます。
B 委員	市として可能であれば、特定の団体へ直接アプローチして、参加を促してみるのも良いと思えます。
事務局	とみさと協働塾の定員は20名となっており、掲げているコンセプトに興味を持っていただいた方に参加していただきたいという趣旨で募集をします。その結果、参加者が少数になった場合でも、実施する価値があると考えております。新規の方の開拓ということについては、委員の方々でお知り合いの方がいれば、案内していただくなどの後押しをいただければと思えます。
副会長	他に御意見ございますか。 ～特に意見なし～
副会長	なければ、以上で議事を終了します。 (その他として、事務局より次回会議を8月下旬に予定している旨を報告。委員からは特になし。) (閉会)